

環境経営レポート

2023年4月1日～2024年3月31日



®環境省
エコアクション21
認証番号0011863



- 笠岡工場工場外観 -



作成日：2024年04月20日

はじめに

弊社はセブン-イレブンの店舗で販売される弁当やおにぎりを製造する専用工場です。弁当やおにぎりは昔から日本人の食生活の中に深く根を下ろし、どこの家庭でも作られ誰もが親しんでいる極めて日常的な食品です。人々の生活の中に当たり前にある弁当やおにぎりだからこそ、安全性はもちろん食材や味・見栄えのすべてにわたって食品としての良質さを追求し提供し続けることが、食品製造会社である弊社の使命であり、結果として持続可能な社会に繋がると捉えています。エコアクションはその使命追及の為の重要な活動であり、全社で取り組んでいます。

<目次>

1. 組織の概要
2. 対象範囲
3. 経営の課題とチャンス
4. 環境方針
5. 主な環境負荷の実績
6. 環境目標
7. 環境経営計画、環境目標の実績、取組結果とその評価及び次年度の取組内容
8. 本社・広島工場の活動
9. 笠岡工場の活動
10. 環境関連法規等の順守状況の確認及び評価の結果 並びに違反、訴訟等の有無
11. 代表者による全体評価と見直し
12. 環境活動の今後の検討事項

1. 組織の概要

(1) 事業所名及び代表者氏名

株式会社 サンヨーフーズ
代表者氏名 代表取締役 佐々木 正信

(2) 所在地

認証・登録範囲
本社・広島工場
〒738-0203 広島県廿日市市友田字橋桁10096番地2
笠岡工場
〒714-0006 岡山県笠岡市みの越13番

(3) 環境管理責任者氏名及び担当者連絡先

環境管理統括責任者	取締役本部長	脇田 洋行
EA21事務局	設備管理課 課長	廣實 秀敏
	設備管理課 係長	田村 孝
内部監査チーム	設備管理課 主任	中本 翔
	設備管理課 課長	平田 克弥
	総務課 係長	児玉 征大
	商品管理課 係長	笹木 裕一
	設備管理課 主任	木地 基博

連絡先

笠岡工場 〒714-0006 岡山県笠岡市みの越13番
TEL 0865-62-6111
FAX 0865-62-6600

(4) 事業活動の内容

コンビニ店舗向け商品(弁当・おにぎり・寿司)の開発・製造



弊社ホームページよりの画像

(5) 事業の規模(2023年4月1日～2024年3月31日)

売上額 14,171百万円
従業員数 1,610人

(6) 認証登録の対象組織の規模

本社・広島工場
従業員数 724人
敷地面積 8,253㎡ (2,497坪)
(納入先の顧客店舗数 529店舗)

笠岡工場
従業員数 886人
敷地面積 13,435㎡ (4,064坪)
(納入先の顧客店舗数 506店舗)

1. 組織の概要

両工場外観及び所在地



広島工場



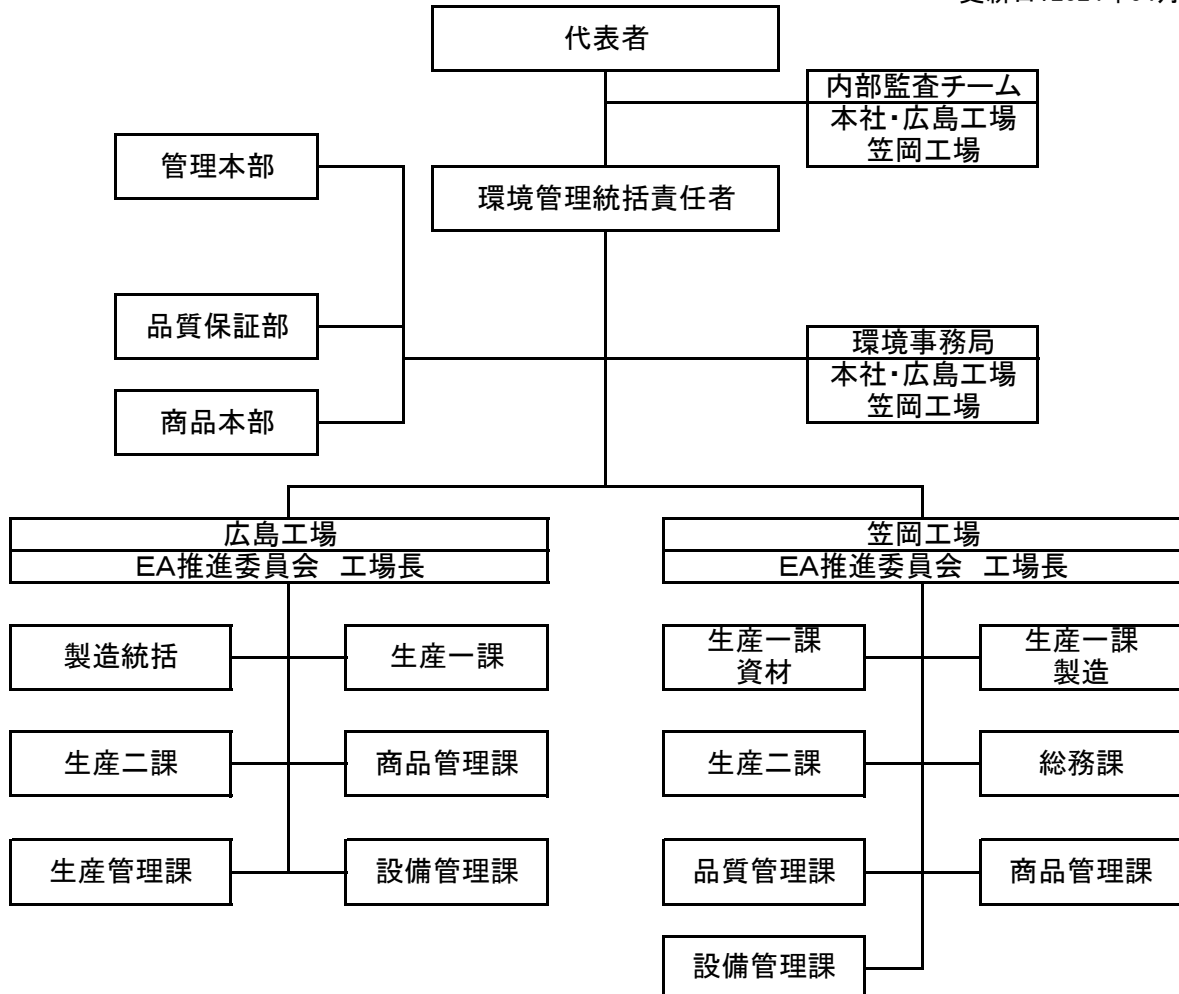
笠岡工場



2. 対象範囲

- (1) 認証・登録対象組織 本社・広島工場及び笠岡工場
(2) 実施体制

更新日：2024年04月01日



2. 対象範囲

	役割・責任・権限
代表者(社長)	<ul style="list-style-type: none"> ・環境経営に関する統括責任 ・環境経営システムの実施に必要な人、設備、費用、時間、技能、技術者を準備 ・環境管理責任者を任命 ・環境方針の策定・見直し及び全従業員へ周知 ・環境目標・環境経営計画書を承認 ・代表者による全体の評価と見直しを実施 ・環境経営レポートの承認
環境管理責任者	<ul style="list-style-type: none"> ・環境経営システムの構築、実施、管理 ・環境関連法規等の取りまとめ表を承認 ・環境経営目標・環境経営計画書を確認 ・環境活動の取組結果を代表者へ報告 ・環境経営レポートの確認
環境事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・環境管理責任者の補佐、EA21推進委員会の事務局 ・環境負荷の自己チェック及び環境への取り組みの自己チェックの実施 ・環境目標、環境経営計画書原案の作成 ・環境活動の実績集計 ・環境関連法規等取りまとめ表の作成及び最新版管理 ・環境関連法規等取りまとめ表に基づく遵守評価の実施 ・環境関連の外部コミュニケーションの窓口 ・環境経営レポートの作成、公開(事務所に備付けと地域事務局への送付)
EA21推進委員会	<ul style="list-style-type: none"> ・環境活動計画の審議 ・環境活動実績の確認・評価
工場長	<ul style="list-style-type: none"> ・自部門における環境経営方針の周知 ・自部門の従業員に対する教育訓練の実施 ・自部門に関連する環境活動計画の実施及び達成状況の報告 ・自部門に必要な手順書の作成及び手順書による実施 ・自部門の想定される事故及び緊急事態への対応のための手順書作成 ・試行・訓練を実施、記録の作成 ・自部門の問題点の発見、是正、予防処置の実施
内部監査チーム	<ul style="list-style-type: none"> ・環境に関する内部監査の計画 ・環境に関する内部監査の実施・報告
全従業員	<ul style="list-style-type: none"> ・環境方針の理解と環境への取り組みの重要性を自覚 ・決められたことを守り、自主的・積極的に環境活動へ参加

3. 経営の課題とチャンス

	課題	チャンス
外部	<ul style="list-style-type: none"> ・光熱費単価の上昇 ・衛生費の上昇 ・原料費の上昇 ・売上の減少 ・常温弁当からチルド弁当へのニーズ増加(エネルギーコスト増加) 	<ul style="list-style-type: none"> ・エネルギー使用量の削減 ・消耗品類使用量の削減 ・原料ロスの削減及び歩留の向上 ・同業他社との差別化 ・セブンイレブンのグリーンチャレンジ2050
内部	<ul style="list-style-type: none"> ・電気、ガス、水の不適な使用 ・生産性の低下 ・労務費の上昇 ・人手不足 ・不適合品の廃棄ロス ・エコアクション21活動のマンネリ化 	<ul style="list-style-type: none"> ・エネルギー使用量の削減 ・IT化の推進 ・業務効率化による勤務時間の適正化 ・雇用環境の改善 ・不適合品の削減 ・地域食材の調達(地域活性化に貢献)

環境に対する課題とチャンス	
課題	チャンス
原材料費・光熱費・衛生費の経費上昇 売上の減少による業務改革の必要性 雇用環境の改善	改善により、省エネ、廃棄ロス、節水等の余地がある IT化の推進等業務効率化を進め雇用環境の改善が可能 商品開発等で他社との差別化を図り売上改善が可能

環境経営方針
安心安全な製品をお客様にお届けするため、働きやすい職場を進める中で 創意工夫による衛生管理の徹底と効率的な生産を目指して継続的な改善を推進する
環境保全への行動指針
省エネルギーの削減より二酸化炭素排出量の削減に努める 廃棄ロスをなくす取組と食品リサイクルの維持向上に努める EA21活動を通して人材育成を推進する

4. 環境方針

株式会社サンヨーフーズ

環境方針

株式会社サンヨーフーズは、地球環境の保全が最重要課題であることを認識し、組織全体を挙げて環境負荷低減及び環境保全に努力いたします。

行動方針

1. 法令順守

企業倫理に基づいて、エネルギー・環境に関するあらゆる法令・規制を遵守します。

2. 環境管理

製品及びサービスに係る環境に対する影響を常に意識して、環境汚染の防止及び環境保護を推進します。

3. 具体的な省エネと廃棄物の削減

(1) 電気使用量の削減

(2) ガス使用量の削減

(3) 水使用量の削減

(4) 食品残渣の削減

以上の削減に努めます。

4. 地域・社会との関係

地域コミュニケーションを大切にし、地域の環境活動を積極的に推進します。

5. エコアクション21の取り組み

当社は、エコアクション21を全社活動として、取り組むことを宣言いたします。

制定日：2018年1月1日

改定日：2019年10月1日

代表取締役社長 佐々木正信

5. 主な環境負荷の実績(企業全体、3年分)

排出量

項目	単位	2021年度	2022年度	2023年度
生産量	食	94,112,325	93,544,734	93,053,687
二酸化炭素総排出量	kg-CO ₂	13,610,404	14,193,777	13,491,214
廃棄物排出量	トン	2,016	1,697	1,707
一般廃棄物排出量	トン	909	674	687
産業廃棄物排出量	トン	1,125	1,022	1,020
総水使用量	m ³	206,246	206,115	199,472

原単位(百万パック当り)

項目	単位	2021年度	2022年度	2023年度
二酸化炭素総排出量	kg-CO ₂	144,618.72	151,732.51	144,983.12
廃棄物排出量	トン	21.43	18.14	18.34
一般廃棄物排出量	トン	9.66	7.21	7.38
産業廃棄物排出量	トン	11.96	10.93	10.96
総水使用量	m ³	2,191.49	2,203.38	2,143.62

6. (基準年の環境負荷と)環境目標

全社		排出量・使用量		原単位(百万パック当り)		
項目	単位	基準年度	運用期間	基準年度	実績	
		広島2018年度 笠岡2022年度	2023年度	広島2018年度 笠岡2022年度	2023年度	
生産量	食	99,436,649	93,053,687			
生産重量	kg	19,739,122	17,216,552			
電気 二酸化炭素排出係数:0.706	使用量	kWh	12,328,044	11,931,033	128,265	127,818
	二酸化炭素排出量	kg-CO ₂	8,703,599	8,423,309	176,957	185,982
ガス 単位発熱量:50.2 LPG kg換算:1.99	使用量	kg	1,750,942	1,578,603	36,173	35,309
	二酸化炭素排出量	kg-CO ₂	5,256,257	4,738,902	108,591	105,996
自動車(ガソリン) 単位発熱量:34.6	使用量	L	41,268	35,554	887	827
	二酸化炭素排出量	kg-CO ₂	95,809	82,544	2,060	1,919
自動車(軽油) 単位発熱量:38.2	使用量	L	93,670	93,855	1,854	2,039
	二酸化炭素排出量	kg-CO ₂	245,822	246,309	4,866	5,352
水使用量	使用量	m ³	214,116	199,472	4,433	4,510
食品廃棄物量	発生量	kg	833,780	820,520	17,087	18,449
食品廃棄物リサイクル ※全て飼料として再生利用	リサイクル率	%	100	100		

6. (基準年の環境負荷と)環境目標

広島工場			排出量・使用量		原単位(百万パック当り)	
項目	単位	基準年度	実績	基準年度	実績	
		2018年度	2023年度	2018年度	2023年度	
生産量	食	43,443,210	37,943,623			
生産重量	kg	9,300,794	7,683,373			
電気 二酸化炭素排出係数:0.706	使用量	kWh	5,907,446	5,717,390	13,598	15,068
	二酸化炭素排出量	kg-CO ₂	4,170,657	4,036,477	96,003	106,381
ガス 単位発熱量:50.2 LPG kg換算:1.99	使用量	kg	950,297	811,809	21,874	21,395
	二酸化炭素排出量	kg-CO ₂	2,852,753	2,437,017	65,666	64,227
自動車(ガソリン) 単位発熱量:34.6	使用量	L	29,144	22,104	671	583
	二酸化炭素排出量	kg-CO ₂	67,663	51,319	1,558	1,353
自動車(軽油) 単位発熱量:38.2	使用量	L	35,118	40,968	808	1,080
	二酸化炭素排出量	kg-CO ₂	92,160	107,515	2,121	2,834
水使用量	使用量	m ³	117,961	108,524	2,715	2,860
食品廃棄物量	発生量	kg	425,740	433,660	9,800	11,429
食品廃棄物リサイクル ※全て肥料として再生利用	リサイクル率	%	100	100		

笠岡工場			排出量・使用量		原単位(百万パック当り)	
項目	単位	基準年度	実績	基準年度	実績	
		2022年度	2023年度	2022年度	2023年度	
生産量	食	55,993,439	55,110,064			
生産重量	kg	10,438,328	9,533,178			
電気 二酸化炭素排出係数:0.706	使用量	kWh	6,420,598	6,213,643	114,667	112,750
	二酸化炭素排出量	kg-CO ₂	4,532,942	4,386,832	80,955	79,601
ガス 単位発熱量:50.2 LPG kg換算:1.99	ガス	kg	800,645	766,794	14,299	13,914
	二酸化炭素排出量	kg-CO ₂	2,403,504	2,301,886	42,925	41,769
自動車(ガソリン) 単位発熱量:34.6	使用量	L	12,123	13,450	217	244
	二酸化炭素排出量	kg-CO ₂	28,146	31,225	503	567
自動車(軽油) 単位発熱量:38.2	使用量	L	58,552	52,887	1,046	960
	二酸化炭素排出量	kg-CO ₂	153,661	138,793	2,744	2,518
水使用量	使用量	m ³	96,155	90,948	1,717	1,650
食品廃棄物量	発生量	kg	408,040	386,860	7,287	7,020
食品廃棄物リサイクル ※全て飼料として再生利用	リサイクル率	%	100	100		

7. 環境活動計画、環境目標の実績、取組結果とその評価及び次年度の取組内容

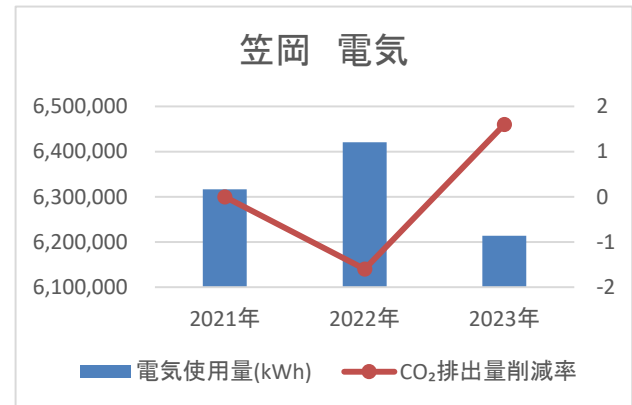
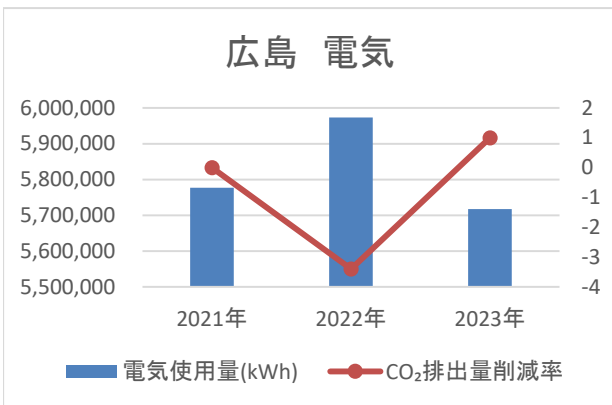
電気使用量削減			7	13
取組	達成状況		取組結果とその評価及び次年度の取組内容	
	広島	笠岡		
・不要照明の消灯管理	○	○	両工場とも売上は減少し、電気使用量も減少している。そのためCO ₂ 排出量も削減できた。	
・生産設備待機時電源OFF	○	○		

広島工場

	2021年	2022年	2023年
電気使用量(kWh)	5,777,278	5,973,606	5,717,390
CO ₂ 排出量(kg-CO ₂)	4,078,758	4,217,366	4,036,477
CO ₂ 排出量削減率	-	-3.4	1.0

笠岡工場

	2021年	2022年	2023年
電気使用量(kWh)	6,316,596	6,420,598	6,213,643
CO ₂ 排出量(kg-CO ₂)	4,459,517	4,532,942	4,386,832
CO ₂ 排出量削減率	0.0	-1.6	1.6



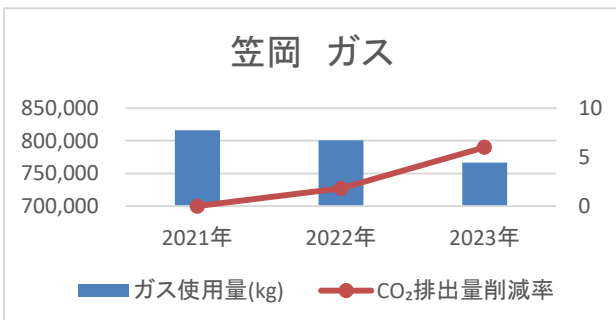
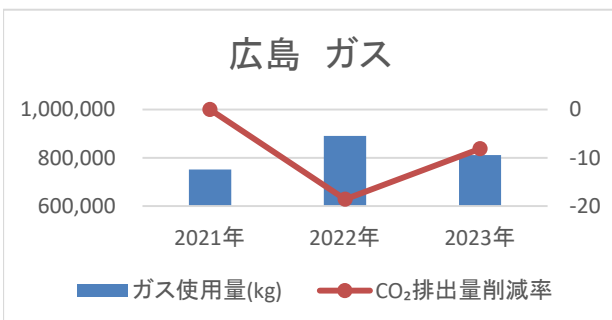
ガス使用量の削減			7	13
取組	達成状況		取組結果とその評価及び次年度の取組内容	
	広島	笠岡		
・蒸気ボイラー定期点検	△	○	両工場とも売上は減少しているが、広島工場ではガスの使用量が増加し、笠岡では減少した。	
・ストレナーの点検、清掃	△	○		

広島工場

	2021年	2022年	2023年
ガス使用量(kg)	751,101	890,983	811,809
CO ₂ 排出量(kg-CO ₂)	2,254,774	2,674,694	2,437,017
CO ₂ 排出量削減率	-	-18.6	-8.1

笠岡工場

	2021年	2022年	2023年
ガス使用量(kg)	815,871	800,645	766,794
CO ₂ 排出量(kg-CO ₂)	2,449,212	2,403,504	2,301,886
CO ₂ 排出量削減率	-	1.8	6.0



7. 環境活動計画、環境目標の実績、取組結果とその評価及び次年度の取組内容

自動車 ガソリン使用量の削減



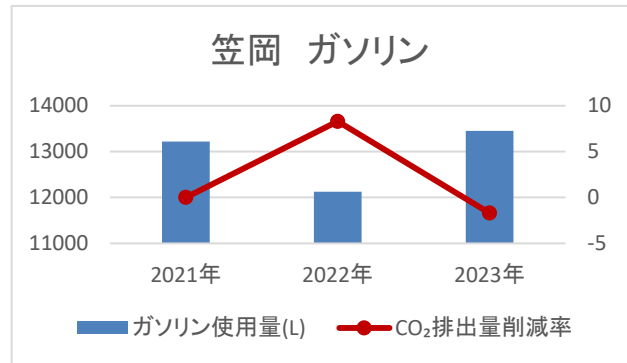
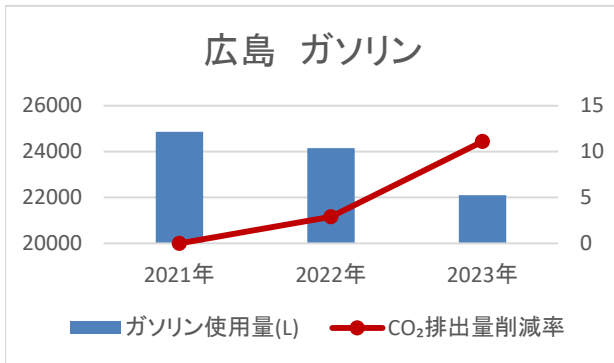
取組	達成状況		取組結果とその評価及び次年度の取組内容
	広島	笠岡	
・エコ運転	○	△	ガソリンと軽油の合計は両工場とも減少している。

広島工場

	2021年	2022年	2023年
ガソリン使用量(L)	24,867	24,149	22,104
CO ₂ 排出量(kg-CO ₂)	57,733	56,066	51,319
CO ₂ 排出量削減率	-	2.9	11.1

笠岡工場

	2021年	2022年	2023年
ガソリン使用量(L)	13,222	12,123	13,450
CO ₂ 排出量(kg-CO ₂)	30,697	28,146	31,225
CO ₂ 排出量削減率	-	8.3	-1.7



自動車 軽油使用量の削減



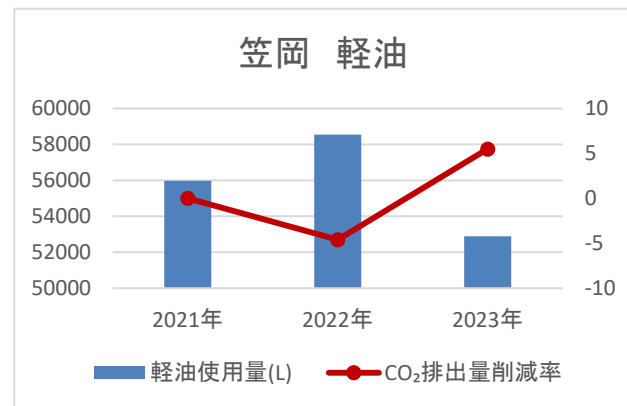
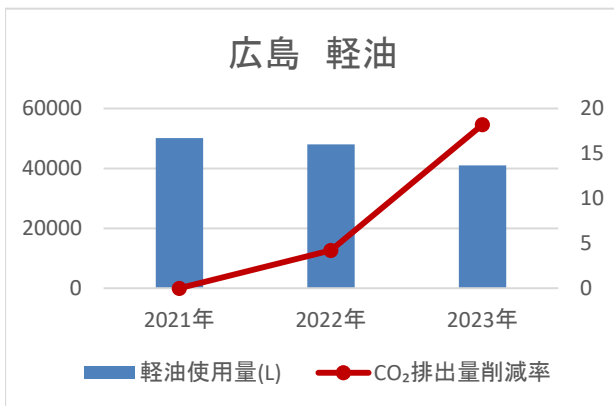
取組	達成状況		取組結果とその評価及び次年度の取組内容
	広島	笠岡	
・エコ運転	○	○	ガソリンと軽油の合計は両工場とも減少している。

広島工場

	2021年	2022年	2023年
軽油使用量(L)	50,082	47,975	40,968
CO ₂ 排出量(kg-CO ₂)	131,433	125,903	107,515
CO ₂ 排出量削減率	-	4.2	18.2

笠岡工場

	2021年	2022年	2023年
軽油使用量(L)	55,971	58,552	52,887
CO ₂ 排出量(kg-CO ₂)	146,886	153,661	138,793
CO ₂ 排出量削減率	-	-4.6	5.5



7. 環境活動計画、環境目標の実績、取組結果とその評価及び次年度の取組内容

水使用量の削減



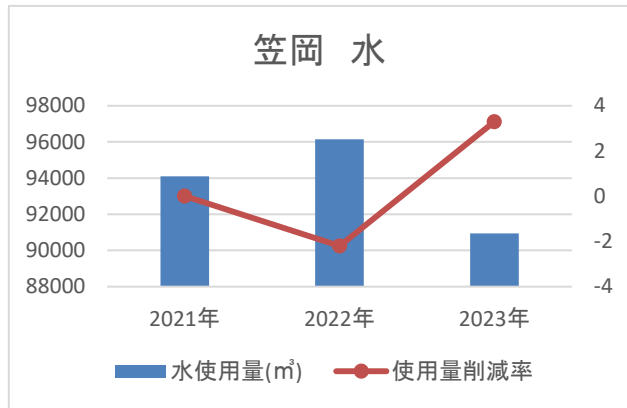
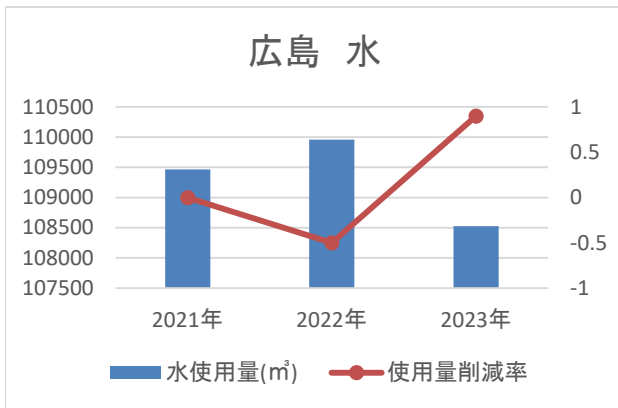
取組	達成状況		取組結果とその評価及び次年度の取組内容
	広島	笠岡	
・使用状況計測・分析	○	○	両工場とも売上は減少し、水使用量も減少している。
・水漏れ箇所の点検、修理	○	○	

広島工場

	2021年	2022年	2023年
水使用量(m ³)	109,467	109,960	108,524
使用量削減率	-	-0.5	0.9

笠岡工場

	2021年	2022年	2023年
水使用量(m ³)	94,098	96,155	90,948
使用量削減率	-	-2.2	3.3



食品廃棄物量の削減



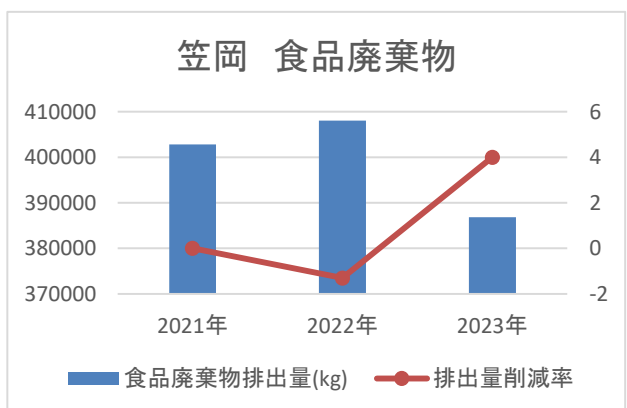
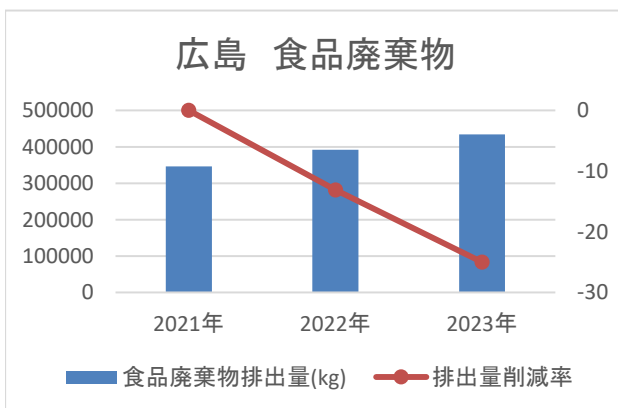
取組	達成状況		取組結果とその評価及び次年度の取組内容
	広島	笠岡	
・製造ロス削減	△	○	両工場とも売上は減少しているが、広島工場では食品廃棄物量が増加し、笠岡では減少した。
・社内販売による食品廃棄物の削減	△	○	

広島工場

	2021年	2022年	2023年
食品廃棄物排出量(kg)	346,590	392,152	433,660
排出量削減率	-	-13.1	-25.0

笠岡工場

	2021年	2022年	2023年
食品廃棄物排出量(kg)	402,830	408,040	386,860
排出量削減率	-	-1.3	4.0



7. 環境活動計画、環境目標の実績、取組結果とその評価及び次年度の取組内容

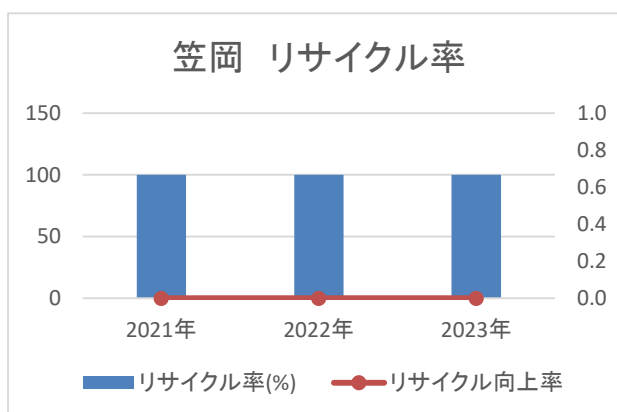
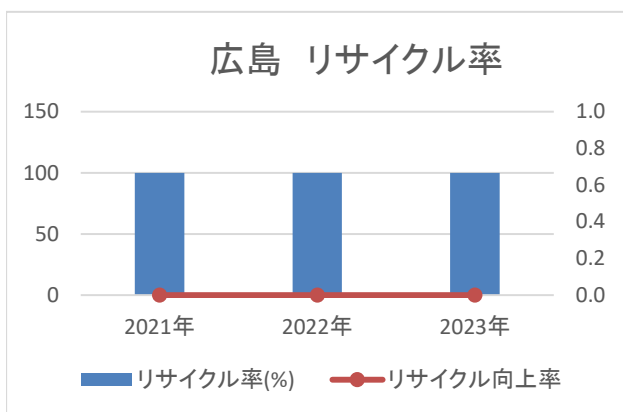
食品廃棄物リサイクル率向上			12 つくる責任 つかう責任	15 廃らぬ責任 もたす責任
取組	達成状況		取組結果とその評価及び次年度の取組内容	
	広島	笠岡		
・食品廃棄物とその他の廃棄物との分別を徹底	○	○	継続して食品廃棄物のリサイクルに取り組む。	
・製造ロス削減	○	○		

広島工場

	2021年	2022年	2023年
リサイクル率(%)	100	100	100
リサイクル向上率	-	0	0

笠岡工場

	2021年	2022年	2023年
リサイクル率(%)	100	100	100
リサイクル向上率	-	-	-



8. 本社・広島工場の活動(省エネルギー活動)

●生産一課の活動

- ・フードダイサー導入による労務費削減。

手切りをフードダイサーに変え月約50万円の労務費削減

- ・IH炒め機2台を1台に集約し電気使用量を削減

10月に対し11月は電気使用量を45%削減。

	10月	11月
IH炒め機1系統電気使用量 (kWh)	7,361	5,069
IH炒め機2系統電気使用量 (kWh)	7,630	4,185



フードダイサー

●生産二課の活動

- ・チルドラインを1ラインに集約による電気使用量削減



1階チルドライン



2階チルドライン

	2023年			2024年		
	9月	10月	11月	12月	1月	2月
1日	800	880	804	1029	402	495
2日	682	459	762	431	417	488
3日	814	458	856	936	900	497
4日	859	475	755	907	926	481
5日	679	463	657	826	1068	447
6日	741	467	845	909	960	490
7日	721	425	814	989	871	523
8日	860	419	928	950	430	696
9日	812	974	828	962	507	485
10日	779	1116	842	926	474	460
11日	392	1132	821	852	480	420
12日	988	1052	1014	973	491	425
13日	893	1039	469	904	478	485
14日	893	1045	481	1143	732	
15日	744	1062	459	873	793	
16日	794	1033	493	549	929	
17日	820	1025	475	605	877	
18日	466	1050	467	832	785	
19日	393	1142	487	920	831	
20日	454	1091	517	953	688	
21日	561	1084	479	1121	812	
22日	522	1094	481	1076	704	
23日	439	914	479	904	626	
24日	451	825	472	893	632	
25日	730	810	435	911	683	
26日	464	774	429	828	790	
27日	463	824	849	988	614	
28日	464	806	792	913	594	
29日	463	751	1052	867	570	
30日	466	861	1163	891	482	
31日		938		428	457	
合計	19604	26488	20404	27289	21001	6391

※黄色ハッチング箇所削減効果有

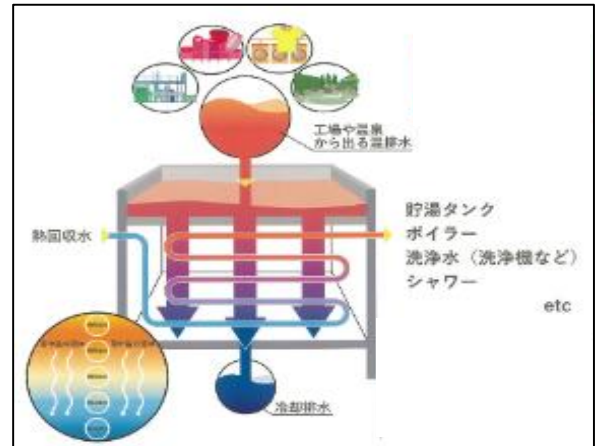
8. 本社・広島工場の活動(省エネルギー活動)

・廃熱回収装置の導入

洗浄機の排水から熱回収し給水を温めることにより、LPGガス使用量を削減しています。

番重洗浄機3台に導入しています。
(2024年1月より稼働)

カロリーメーターにより回収エネルギー量を監視。



熱回収のしくみ



熱回収装置設置状況

	1月	2月	3月
LPGガス削減量 (m ³)	1,901	1,948	2,017
CO ₂ 削減量(kg-CO ₂)	11,936	12,235	12,666
削減経費	¥492,279	¥504,602	¥522,369

熱回収装置導入効果

LPGガス使用量を約5%削減

経費を月間50万円削減

8. 本社・広島工場の活動(地域コミュニケーション)

地域の清掃活動

2023.6.4(日)串戸寮

7:00~8:00

参加者・・・ 5名(特定技能 3名、社員2名)



9. 笠岡工場の活動(省エネルギー活動)

・食堂に食洗器を導入して節水

手洗いの時と比較して1日約12トンの節水が可能になりました。

【1ヶ月经費】

	使用数	単価	金額
手洗い洗浄(20L/日)	600L	0.223円	134円
食洗器(8L/日)	240L	0.223円	54円
差額	△360L		△80円

【年間経費】

	使用数	単価	金額
手洗い洗浄(20L/日)	7200L	0.223円	1605円
食洗器(8L/日)	2880L	0.223円	642円
差額	△4320L		△963円



導入した食洗器

・排水処理場の夏季電力ピークカット対策

排水処理場No.1,2,3の曝気ブローにタイマーを追加して、夏季の間自動で昼のピーク時(11:00~15:00)に曝気ブローを切りにして電力のピークカットを実施。



タイマー追加



曝気槽



排水処理場(No.3)

9. 笠岡工場の活動(緊急事態想定訓練)

・消火訓練

実施日:2023年5月27日、28日

8月6日、8月7日

10月21日、10月22日

12月13日、14日、15日、19日、26日

参加者:従業員(昼/夜)

本来は消火訓練は年1回(昼/夜)でしたが、他工場で油火災に対して水をかけるという誤った消火を行った事件が発生した為、2023年度は複数回実施し多くの従業員が訓練に参加できるようにしました。

昼勤

・消火器の種類説明



・消火器使用訓練

・消火器の使用方法説明



・消火訓練



夜勤

・外国人従業員の為の通訳



・消火器使用説明



・消火器使用訓練



10. 環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果 並びに違反、訴訟等の有無

環境関連法規名	要求事項	遵守評価	
		広島工場	笠岡工場
廃棄物の処理及び清掃に関する法律	・収集業者の許可書確認	○	○
	・委託書の締結及び保管	○	○
	・保管基準の遵守	○	○
	・廃棄物管理票の交付	○	○
	・交付等状況報告書の提出 (写しの送付、保管5年間)	○	○
	・処理状況の確認	○	○
水道法	・水質基準の遵守	○	○
浄化槽法	・設置、変更の届出	○	○
	・保守点検、清掃、記録の保管(3年間)	○	○
	・定期検査(指定検査機関での実施)	○	○
消防法	・防火管理者の選任	○	○
	・定期点検、記録の保管(3年間)	○	○
フロン排出抑制法	・登録者による適切な引き渡し	○	○
	・証明書の保管	○	○
	・定期点検の実施	○	○
	・点検記録の保管	○	○
	・算定漏えい量の報告	○	○
エネルギー使用の合理化に関する法律	・使用状況の把握	○	○
	・管理統括者、企画推進者の選任	○	○
	・管理員の選任	○	○
	・資質向上講習の受講	○	○
	・中長期計画、定期報告書の提出	○	○
地球温暖化対策の推進に関する法律	・算定排出量に関する定期報告	○	○
高圧ガス保安法	・技術上の基準に従った貯蔵	○	○
食品リサイクル法	・再資源化率の目標の達成を目指す	○	○
	・定期報告書の義務化	○	○
	・リサイクル率85%以上の達成	○	○
電気事業法	・定期点検の実施	○	○
騒音・振動規制法	・設置届出書	○	○
	・取扱い説明書	○	○
	・現物確認	○	○
	・笠岡市公害防止協定遵守	—	○
プラスチック資源循環法	・プラスチック使用製品産業廃棄物等の排出の抑制・再資源	○	○
労働安全衛生法	・職長等に対する安全衛生教育	○	○
	・化学物質リスクアセスメント	○	○
その他 セブンイレブン要求	・エコアクション21取得	○	○
	・食品リサイクル率85%以上	○	○
	・県条例(温対法)、5ヶ年計画の達成	○	○

・環境関連法規制等の遵守状況の評価の結果、環境関連法規制等は遵守されていました。

11. 代表者による全体評価と見直し

(1) 全体評価

項目	評価の内容
環境への取り組みは適切に実施されているか	エネルギー使用量の削減活動や廃棄物削減活動は適切に取組が継続して行われている
環境経営システムが有効に機能しているか	問題なく継続して有効に機能している
遵守すべき関係法案に問題はないか	環境関連法規及び条例に対する違反や関係当局からの違反指示や訴訟は有りません

(2) 見直し

対象	変更の有無	見直し内容
環境経営方針	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無	環境経営を継続するにあたり見直しを実施し継続的な改善活動を宣言します
環境保全行動指針	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無	企業の取り組みを具体的に明記します

(3) 実績コメント

2023年度実績として生産数は前年度対比99%と減少し、二酸化炭素排出量は95%と削減する事ができました。削減できた要因として広島工場・笠岡工場の省エネルギー活動の効果が表れています。一方廃棄物発生量は増加傾向の為、削減に向けて更なる取組が必要になりました。またガソリン・軽油使用量ではコロナ禍が落ち着き、送迎車間引き運転を終了して送迎回数を減らした事により、使用量が大きく削減しました。次年度も引き続きエコアクション21活動を継続し、環境経営を実施致します。

12. 環境活動の今後の検討事項

①SDGsの啓蒙

作成日：2023年4月1日



株式会社サンヨーフーズ サステナビリティ

2030年あるべき姿

食と職を創造し、みんなが笑顔に

サンヨーフーズはコンビニエンスストア向けの弁当・おにぎり・お寿司を製造し、お客様の「食」を豊かにできるような事業に取り組んでいます。お客様の「食」を豊かにするには、地球環境を守り、経済の安定化に貢献し、そしてダイバーシティ（多様性）に自ら取り組むことが重要であり、その基盤は地域社会にあります。持続可能な地域社会の実現に向けて、私どもは誰一人取り残すことなく、人を活かし、品質を極め「食」と「職」を創造し、地域社会の好循環に貢献し、さらなる暮らしの向上を目指す活動を行います。

マテリアリティ（重要課題）と該当するSDGs

お客様のニーズにあった商品の提供

お客様に笑顔になってもらえる商品の開発と製造を行い、地域の方へ安全・安心と美味しさをお届けする。

主な取組み

- ・食品安全に関連する法令・規制要求事項を遵守する。
- ・お客様の健康に配慮した安全・安心な商品を製造する。
- ・お客様の声に耳を傾け地域に根差した商品開発を行う。
- ・徹底したマーケティングにより顧客ニーズを捉え需要の増加を図る。



地球環境に配慮した事業活動

地球環境の維持と事業活動を両立するために、フードロス削減、適切なエネルギー使用と廃棄物処理を実践する。

主な取組み

- ・製造工程で発生する廃棄物の削減に注力する。
- ・エネルギーの適正使用（可視化）と再生可能エネルギーの活用。
- ・食品廃棄物の分別と適正処理（リサイクル及び焼却時のCO2削減）。
- ・水使用の効率化と排水の適正処理（持続的な水資源の確保）。



多様性を尊重し誰もが活躍できる社会の実現

多様性を尊重し、高めることで人や価値観の新たなコラボレーションを育む環境をつくり、新しい発想やイノベーション（変革）を起こす組織にする。

主な取組み

- ・個人のニーズに応じた雇用形態や働き方、公正な職務評価を行う。
- ・女性人材の活躍を推進し、性差別なく働ける機会を享受する。
- ・LGBTQや障がい者などの社会的マイノリティの理解を深める。
- ・働く能力と意欲を育て技能等の修得・習熟・熟達を図る。



持続可能な雇用の創出

ダイバーシティを実現し、不合理な待遇差をなくし、雇用の安定を推進する。

主な取組み

- ・ワーク・ライフ・バランスがとれる企業風土を醸成する。
- ・業務効率を高め、時間当たりの生産性向上に努める。
- ・従業員の健康管理を経営課題として戦略的に取り組む。
- ・働き方に応じて労働条件の均衡待遇・均等待遇を図る。



公正かつ誠実な事業活動

企業の社会的信頼度を高め、企業価値を維持するため、コンプライアンスを遵守し、クリアでクリーンな活動を実行する。

主な取組み

- ・関連法規をはじめ倫理や社会規範を遵守し、従業員に対し理解と周知を行う。
- ・適切な企業統治と情報開示を行う。
- ・誠実な消費者対応を行う。
- ・取引先との誠実な関係を築く。



地域社会との共生を推進

地域と一緒に問題を解決し、地域社会の持続的発展のための活動を推進していく。

主な取組み

- ・就労と子育てが両立できる環境を整備する。
- ・地域美化・環境維持に努める。
- ・地域行事の開催・維持に努める。
- ・地域の学校と連携した教育活動を行う。

